

① 試験成績書（見本）

試験成績書	
品名	マルタリレーテスト
型名	IP-R2000
製造番号	123456
製造業者	株式会社 ムサシニテック
試験年月日	2015年5月1日
試験温度	25℃
試験湿度	45% RH
校正担当者	
承認者	

品名	型式	製造番号	校正日	校正番号
(内校正機関に依存)				
照合用標準器				
品名	型式	製造番号	校正日	校正番号
CHROMA TRANSFORMER	CT-9	3209	2014年8月4日	
デジタル電力計	1994-01-90100	129023029	2014年7月1日	
EVENT COUNTER	EP-102	1799	2014年7月1日	
DIGITAL MULTIMETER	18441650	1078206	2014年7月1日	

株式会社 ムサシニテック

1. 定 価	電圧	電流	電圧	電流
定価	AC100V±10% (50/60Hz) 相間	約25VA (額定試験時)	19分間 (額定試験時)	
定価	AC100V±10% (50/60Hz) 相間	約25VA (額定試験時)	19分間 (額定試験時)	

2. 絶縁耐圧	電圧出力～ケース間	AC100V 1分間耐	電圧出力～ケース間	AC 500V 1分間耐	ケース間	AC100V 1分間耐
絶縁耐圧	AC 0~120V	AC 0~15/150/300V	AC 0~15/150/300V	AC 0~50A	AC 0~50A	AC 0~50A
絶縁耐圧	AC 0~120V	AC 0~15/150/300V	AC 0~15/150/300V	AC 0~50A	AC 0~50A	AC 0~50A

3. 出力試験	電圧	電流	電圧	電流
出力試験	AC 0~120V	AC 0~15/150/300V	AC 0~15/150/300V	AC 0~50A
出力試験	AC 0~120V	AC 0~15/150/300V	AC 0~15/150/300V	AC 0~50A

4. 校正試験	電圧	電流	電圧	電流
校正試験	AC 0~120V	AC 0~15/150/300V	AC 0~15/150/300V	AC 0~50A
校正試験	AC 0~120V	AC 0~15/150/300V	AC 0~15/150/300V	AC 0~50A

4.3 電流許容	許容値	測定値	校正値
許容値	±0.5% of I <sub>n</sub>		
許容値	±0.5% of I <sub>n</sub>		

5. スイッチ動作試験	電圧出力相対電圧	電流出力相対電流
スイッチ動作試験	AC 0~120V	AC 0~15/150/300V
スイッチ動作試験	AC 0~120V	AC 0~15/150/300V

② 校正証明書（見本）

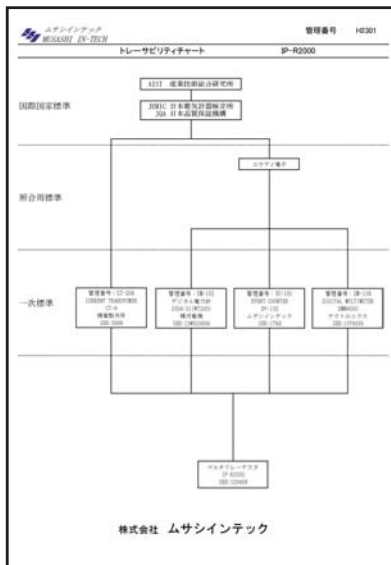
校正証明書	
品名	マルタリレーテスト
型名	IP-R2000
製造番号	123456
製造業者	株式会社 ムサシニテック
試験年月日	2015年5月1日
試験温度	25℃
試験湿度	45% RH
校正担当者	
承認者	

品名	型式	製造番号	校正日	校正番号
(内校正機関に依存)				
照合用標準器				
品名	型式	製造番号	校正日	校正番号
CHROMA TRANSFORMER	CT-9	3209	2014年8月4日	
デジタル電力計	1994-01-90100	129023029	2014年7月1日	
EVENT COUNTER	EP-102	1799	2014年7月1日	
DIGITAL MULTIMETER	18441650	1078206	2014年7月1日	

株式会社 ムサシニテック

③ トレサビリティ体系図（見本）



弊社では、「既納製品をお預かり」又は「製品の新規ご購入」に伴い、以下の校正書類の発行を承ります(有料)

① 試験成績書

「試験成績書」は試験中に行われた仕様の校正値が記録されています。試験項目は対象の機器により異なりますので、ご確認ください。

② 校正証明書

「校正証明書」は、校正された機器の校正結果を証明するためのものです。標準付属として校正証明書には校正作業で使用した「照合標準器及び、一次標準器の試験成績書」を添付させていただきます。  
※「照合用標準器・一次標準器の試験成績書」が不要である場合は、ご依頼時又はお見積り後の着手ご回答時に弊社までお申し出ください。

③ トレサビリティ体系図

「トレサビリティ体系図」は、校正作業に使用する計測器が弊社計測器管理体系によって校正されており、使用される校正用標準器・照合用標準器が日本電気計器検定所などを通じ国家標準機関（産業技術総合研究所など）に対して追跡調査が可能であることを体系的に表したものです。P.107に弊社標準管理（トレサビリティ）体系図を掲載しておりますが、ご依頼頂いた際に発行する体系図は必要部分のみの記載となります。

● ご使用中の製品をお預かりする場合

校正書類費用 + 校正（作業）費用 + 荷造運搬費

- ※ お預かりした製品が許容差内に収まらず調整又は交換部品を伴う修理が必要な場合は別途有償修理とさせていただきます。この場合は修理完了後のデータのみ書類を作成させていただきます。
- ※ ご要望により、「お預かり状態（修理前）」と「修理完了後」の2つのデータを書類として作成させて頂くことも可能です。この場合は「書類を2セット分+校正作業費用を1.5~2倍+修理費用」をお見積りさせていただきます。

● 新規に製品をご購入される場合

校正書類費用 + 製品購入代金

- ※ 製品ご購入時の校正作業は出荷試験を兼ねますので無償とさせていただきます。また一部の商品を除き荷造運搬費も無償とさせていただきます。

● 書類の再発行について

紛失等による再発行は3ヶ月以内であれば、同内容で有償発行致します。3ヶ月を超える場合は、再度お預かりの上のご対応とさせていただきます。